

## 1 未来に向けたこども・子育て政策

### 新たなこども・子育て事業

本年9月から**子ども医療費助成の所得制限の撤廃**と**中学生までの窓口無料化**を行います。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援策として、県内で津市だけが行っている**妊産婦医療費助成**についても、本年9月から**所得制限を撤廃し自己負担のない窓口無料**にします。また、妊娠中はホルモンバランスの変化などにより歯周病等になりやすくなり、妊婦が歯周病に罹患すると低体重児の出産や早産のリスクが高まると指摘されています。**妊婦無料歯科健康診査**を開始し、妊婦の不安の軽減を図ります。

これらの事業を行うためには安定的な財源が必要となります。ポートルースの収益金を活用した津市独自の**こども基金**を創設することで財源を確保します。



### 推進体制の強化

本年4月に施行される改正児童福祉法において、市町村は全ての妊産婦、子育て世帯、こどものための一体的な相談支援を行う機能を有する「こども家庭センター」の設置に努めることとされました。これを受け「**津市こども家庭センター**」を設置し、児童虐待に関する児童相談所との連携、こどもの居場所づくり、児童の発達支援に係る専門的な相談や津市児童発達支援センターの管理などの体制の充実・強化を図るとともに、保育や子育て支援における量の拡充および質の向上、若者を対象とした出会い応援の充実などの推進を強化します。

### こどもたちの居場所づくりの加速化

高茶屋地区において民間事業者が整備を進めている幼保連携型認定こども園については、着実に令和7年4月に開園できるよう丁寧な支援を続けてまいります。**放課後児童クラブ**については、誠之・白塚の2施設の整備に加え、修成・高茶屋の2施設の実施設計を行い、安全安心で快適なこどもの居場所を広げてまいります。

学校施設については、育生・片田・明合小学校、橋北・白山中学校の**5校の長寿命化改修工事**に加

え、栗真・豊が丘・桃園・千里ヶ丘小学校、東観中学校の**5校**の実施設計を行います。

また、エアコン整備やトイレ洋式化を進めるとともに、国の補助金の対象とならない消防設備や給水設備の改修等を進めてきておりますが、さらに、**校舎の屋上防水や屋内運動場の床改修**などを行う**学校施設改修特別推進事業**を進めます。その財源として、ポートルースの収益金を活用した**学校施設整備基金**を創設してまいります。



長寿命化改修工事を行った東橋内中学校

## 2 未来に向けた都市づくり

### 道路ネットワーク

**大谷踏切**は、本年12月に開通する予定です。開通後は、鉄道によって分断されている西側と東側の車の流れが変わります。



開通が待ち望まれる大谷踏切

そして、そこに長年、夢として語られてきた志登茂川河口架橋(第3江戸橋)と、鉄道との立体交差により市街地を東西に結ぶ下部田垂水線(上浜工区)が現実のものになるようとしています。

**志登茂川河口架橋**は、三重県において橋梁の予備設計が行われていることに加え、当該架橋を含む工区の整備を少しでも早く進めるため、先に同工区にある津海岸御殿場線から着手することとし詳細設計が行われることとなりました。津市は、志登茂川河口架橋南詰から津駅東口へのアクセスとなる**津駅前線**の拡幅工事に着手します。

**下部田垂水線(上浜工区)**の整備は、昨年8月の県政要望により、県において実施されることとなり、40年にわたり日の目を見なかった当該路線は、実現に向けた一歩を踏み出しました。津市も津駅周辺道路空間の再編に向け、津駅西口から西に繋がる**広明町河辺町線**、**内多清水ヶ丘線**の整備工事に着手してまいります。